

安全と衛生の講演会のご案内

2012年2月23日

尼崎労働者安全衛生センター

議長 松原 保

底冷えの残る毎日ですが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

東日本大震災からもうすぐ1年を迎えることとなりますが、現地の復興や原発事故の収束が未だに図られないことを不安に感じられている方も少なくないことでしょう。

最近話題になっている「放射能汚染されたガレキの処理」ですが、東京、大阪や静岡県の一部自治体が受入れ、焼却処分を進めると言っております。燃やすと地域に拡散されるのでは？、だけど復興の支援のためには…、など皆さんの葛藤も多いことでしょう。尼崎は大阪の隣であることも気になるところです。ごみ運搬や焼却をする労働者の被曝管理はどうするのでしょうか。本当に大丈夫なのでしょうか。

今回はこの問題に詳しい末田一秀さんを講師に講演会を開催します。誰でも参加できます。是非多数、ご参加ください。

記

【と き】 3月22日（木）午後6時～8時

【テーマ】 「放射能汚染されたガレキの処理について」

【講師】 末田一秀さん（自治労）

【ところ】 尼崎市立労働センター（尼崎市東難波町4丁目18番23号）

TEL 06（6482）6180

お話の内容は

- ・被災地での放射能汚染瓦礫の状況
- ・何故各地に分散させて焼却するのか
- ・汚染瓦礫を焼却する時の問題点（労働者、住民に関して）、被曝・放射線管理区域など
- ・国や東京、静岡、大阪の動きなど（補助金制度など）
- ・大阪フェニックス処分場と尼崎市について
- ・末田さんから労働者、住民へのメッセージ など

連絡先 事務局 塩見・飯田まで

TEL&FAX:06-4950-6653

参加費無料